

# 沖縄から見える日本 ～4. 28 は主権回復の日か？～

## 参加・賛同のお願い



4月28日は、1952年サンフランシスコ条約により、第二次世界大戦後、米軍占領下にあった日本が独立した日とされています。しかし、沖縄は、日本の独立から切り離され、アメリカの占領下に置かれたままとりました。沖縄の人々にとってこの日はまさに「屈辱の日」と言われています。

1972年に沖縄県は日本復帰しましたが、その後も、在日米軍基地は返還されることなく、オスプレイの配備が強行され、沖縄県内での米兵による事件・事故、軍用機騒音の被害や化学物質流出による水・土壌への環境汚染など、人々への生活・健康への影響は、悪化の途をたどっています。

こうした状況にも関わらず、2013年のこの日、安倍政権は「主権回復の日」の式典を行いました。果たして、主権を回復しているといえるのでしょうか？

名護市辺野古では、2023年12月28日、新基地建設に反対する県に変わり、国が手続きを進める「代執行」によって、国交相は辺野古新基地建設工事に関する設計変更の申請を承認し、2024年1月10日、大浦湾側の工事を強行しました。この工事は、すでに工期も何倍にも膨れ上がっており、また、軟弱地盤の存在は埋め立て工事の完成を不可能にするものとも言われています。

また、与那国、石垣、宮古、奄美の島々に開設された自衛隊基地にはミサイルが配備され、その本部が沖縄本島の勝連分屯地に置かれています。馬毛島では昨年1月から米軍と自衛隊の一大軍事基地の建設が始まりました。大分県湯布院駐屯地にミサイル部隊を新設する計画や、大分敷戸の弾薬庫建設など九州各地でも、軍拡の動きは進んでいます。

1995年、米兵による少女暴行事件に沖縄の怒りは爆発し、愛知でも数千人の集会やデモが行われ、沖縄に連帯する幾つかの団体が結成されました。沖縄を戦場に作る動きが強まっている今、愛知で大きな運動を作る必要があると考えます。

4月28日、名古屋では「沖縄から見える日本」～4. 28 は主権回復の日か？～と題し、音楽と講演の集いを開催します。

沖縄の現状を通して日本の現状を考え、沖縄の闘いのそばに常にある歌や踊りに触れ、連帯を深める場にしたいと思います。

趣旨に賛同いただき多くの方の参加をお願いすると共に、賛同のカンパをお願いします。

\*\*\*\*\*

### 賛同費

個人一口：1000円 / 団体一口：3000円

振込先

ゆうちょ銀行

口座番号：00890-0-151551 加入者名：あいち沖縄会議

あいち沖縄会議（構成団体）

- 不戦のネットワーク ●命どう宝あいち ●名古屋YWCA
- 東海民衆センター ●日本聖公会中部教区沖縄プロジェクト
- JUCON（沖縄のための日米市民のネットワーク）

